

かながわの交通

2021
11月号

交通安全年間スローガン受賞作品（全日本交通安全協会会長賞）
～一般部門A～ 運転者（同乗者を含む）へ呼びかけるもの

その先の 危険を教える ハイビーム



二輪車安全運転指導員養成講習会・資格審査

(横浜市旭区)



道路横断には気をつけて！

高齢歩行者の事故が増えています。

油断大敵！ 運転者も歩行者もルールを守って
交通事故防止に努めましょう！

歩行者
事故
多発！

◎県内の交通事故発生概況（令和3年10月末現在） ◎県人口・運転免許人口

年別区分	発生件数	死者数	傷者数
令和3年	17,440	112	20,183
令和2年	16,463	113	19,121
増減数	+977	-1	+1,062
増減率	+5.9%	-0.9%	+5.6%

	総数	男	女
県人口	9,239,502	4,582,652	4,656,850
免許人口	5,646,607	3,211,460	2,435,147
割合	1.6人に1人	1.4人に1人	1.9人に1人

(県人口は令和3年10月1日、免許人口は令和3年9月末現在)



ホームページ

➡➡➡飲酒運転根絶強化月間⬅⬅⬅

実施期間

令和3年12月1日(水)～12月31日(金)の1か月間

目的

悲惨な交通事故を引き起こす飲酒運転を根絶するため、飲酒運転の危険性、悪質性を訴える運動を県民総ぐるみで展開します。



スローガン

乗る人に 飲ませるあなたも 犯罪者

重 点

- ・飲酒運転根絶運動の周知徹底と広報啓発
- ・飲酒運転を助長する環境の根絶
- ・ハンドルキーパー運動の推奨



飲酒運転で人身事故を起こすと、

危険運転致死傷罪

最高懲役 20 年の懲役に問われることも !!

飲酒運転も飲酒運転周辺者も厳罰 !

「ストップ・ザ・交通死亡事故」

令和3年度から5か年計画で始まった「第11次神奈川県交通安全計画」では、交通事故による「年間の24時間死者数を130人以下」とする目標を掲げ、各季の交通安全運動をはじめ、各地区的交通情勢に応じた対策を推進しています。

今年は10月末現在の交通事故死者数が112人(前年比-1人)と、昨年と比べて減少しておりますが、目標達成が極めて厳しい情勢にあります。

これから年末にかけて例年交通事故が多発傾向にあり、飲酒を伴う事故の増加も予想されるところから、県警察では多発している二輪車関係事故や高齢者事故の防止を中心として、年末の交通事故防止運動等に取り組む方針とのことですので、地元警察署や関係団体が連携し、地域の交通実態を踏まえた効果的な交通事故防止の取組みに努めましょう。



受賞おめでとうございます

警察本部長・地域交通安全活動推進委員協議会連絡協議会会長連名表彰

交通の安全と円滑を図るために活動している中で、顕著な功労のあった原則として在任期間10年以上の個人と、多年にわたる地道な推進委員協議会活動により顕著な功労があった団体を対象として毎年表彰しています。

● 交通安全功労者(50人)(敬称略)

林 昌邦(磯子)、服部太郎(金沢)、稻川淳一(南)、黒柳育義、永井 実(伊勢佐木)、持丸幸夫、岩井尋子(鶴見)、青木恵美子(保土ヶ谷)、渡邊加奈子、篠山久仁子(港南)、岩岡義明(緑)、佐藤昌彦(都筑)、河野昭一(戸塚)、寺澤正克(栄)、青木一喜、水谷美子(瀬谷)、藤野 俊(川崎)、渡辺 正(川崎臨港)、日原 悟(幸)、石井茂宏(中原)、鈴木 豊(高津)、三田 弘、名古屋徳蔵(宮前)、井田聰志、元木正巳(多摩)、長瀬敏之(麻生)、古屋英尚、前田郁夫(田浦)、鈴木 衛、山本昭子(三崎)、中村 悟(鎌倉)、松本さつき(大船)、高田弘之(藤沢)、入内嶋 晃(藤沢北)、佐藤たゑ子(茅ヶ崎)、簗島 亨(平塚)、宮嶋君江(大磯)、岸 孝司(小田原)、井上 實、小澤修一(松田)、諸星義晴、石原隆男(秦野)、新井勝海、川崎 眞(厚木)、市川 悟(大和)、須藤とし(相模原)、藤野眞理子、荒木伸弘(相模原南)、関 欣人、三枝壽美雄(相模原北)

● 交通安全功労団体(3地区協議会)

- | | |
|-------------------------|---------|
| ・港南警察署管内地域交通安全活動推進委員協議会 | 代表:内倉忠勇 |
| ・緑警察署管内地域交通安全活動推進委員協議会 | 代表:鈴木正雄 |
| ・大船警察署管内地域交通安全活動推進委員協議会 | 代表:高田辰二 |

.....交通指導員研修会の開催

交通指導員研修は、交通指導員事業運営要綱に基づいて実施することとされており、各地区で開催されています。



(鶴見交通安全協会)



(宮前交通安全協会)

各地区交通安全協会では、県委嘱の交通指導員と同協会会长・役員等が集合し、警察署交通課長等による

- 管内の交通事故の発生状況
- 交通指導員の勤務及び留意事項

等について講話、県交通安全協会配布の資料「道路交通法一部改正の要点」「運転免許を大切に」の冊子を活用し交通事故防止に対する指導要領等の研修を行いました。

自転車安全整備制度推進ブロック会議（関東ブロック）

自転車安全整備制度（TSマーク制度）の普及・促進を図るため、10月7日（木）横浜市港北区において（公財）日本交通管理技術協会主催による「自転車安全整備制度推進会議（関東ブロック）」が開催されました。

この会議は、毎年、ブロック内の都県自転車安全整備管理者（自転車商協同組合理事長）及び都県交通安全協会専務理事等が一同に会し、開催されています。

会議の前に、昨年度TSマークの普及促進に功労があつた協会等に対する感謝状の贈呈が行われ、当県協会も「TSマーク交付枚数の部」で受賞しました。会議では主催者、来賓からそれぞれ挨拶があり、主催者側から「TSマークの普及拡大状況」、「自転車事故の高額賠償事例」等についての説明があり、その後ブロック内各都県交通安全協会等からTSマークの普及拡大方策について事例発表の後、質疑応答、今後のTSマークの普及拡大に向けた活発な討議が行われました。



感謝状を受ける長澤専務理事（左側）

自転車に赤色 TS マークで安全・安心

赤色 TS マーク貼ってね

「TSマーク」は自転車安全整備店の自転車安全整備士が点検・整備した安全な普通自転車に貼るシールのこと、傷害保険と賠償責任保険が付帯しています。

「TSマーク付帯保険」は、自転車に付帯していますので、所有者に限らず、その自転車に乗車していた家族や借りた友人、譲り受けた人も対象となります。

赤色 TS マーク付帯保険の補償内容

傷 害 補 償	賠 償 責 態 補 償	被 害 者 見 舞 金
●死亡	●死亡	●入院加療15日以上
●重度後遺障害 (1～4 級)	●重度後遺障害 (1～7 級)	●以上の傷害 一律10万円
●入院治療 15 日以上の傷害	限度額1億円	
		一律10万円



支 払 い の 対 象

- ・賠償責任の当事者は搭乗者本人のほか、本人に代わって責任を負う親権者、雇用主が含まれます。
- ・搭乗中の人とは、自転車の所有者である必要はありません。借りて搭乗していた方も適用になります。
- ・搭乗中とは、自転車から降りて押して歩いている場合も含まれます。
- ・事故は道路上で起きたものに限られません。



二輪車安全運転指導員養成講習会・資格審査の開催

神奈川県二輪車安全運転推進委員会では、神奈川県警察、神奈川県二輪車普及安全協会等の協力を得て、10月16日(土)神奈川県警察運転免許センターで「二輪車安全運転指導員養成講習会・資格審査」を開催しました。

この講習会・審査は、二輪車運転について知識・技能・指導力を有する指導員を養成し、二輪運転者に対する積極的かつ効果的な交通安全教育を推進することを目的に開催していますが、今年も地区交通安全協会の方をはじめとして二輪車販売店従事者、二輪車愛好家など24名の方が受講しました。

当日は、開講式に続いて、午前中は県警察担当官による適性検査、法令講習、法令試験、午後からは二輪車安全運転推進委員会特別指導員の指導で実技講習を行った後に、面接審査を行いました。

合否については、後日、判定委員会を開催し、11月中旬ころまでに県二輪車安全運転推進委員会から合格者の方に認定証、指導員手帳、バッヂ、ワッペンを交付する予定です。



地域交通安全活動推進委員研修会の開催

地域交通安全活動推進委員(以下「推進委員」という。)は、道路交通法等を根拠に、「地域における交通の安全と円滑に資するための活動」として、

交通安全教育、広報・啓発、協力要請、相談、協力援助、実地調査
等を広く行うことを任務としています。

そのため、推進委員には各種活動に必要な知識等を習得する機会が与えられています。



(相模原警察署管内)



(松田警察署管内)

県協会は、県公安委員会から県交通安全活動推進センターとして指定を受け、推進委員に対する研修事務を受託契約のうえ、各協議会と連絡調整を図りながら行っています。

地区別研修会については、管轄警察署の指導の下、事前に当センターと日程等調整のうえ開催していただこうとお願いします。

交通事故の悲劇に学ぶ ⑨

●「人生最大の過ち」 トラック運転手(63歳)

その日、私は仕事を終え家に帰る途中でした。11月の終わりで寒くもあり、時間も午後6時30分頃だったことから周囲も真っ暗でした。

私は前方の交差点の信号が青に変わったことから左折をはじめましたが、その際なんとなく、左側の電柱に気を取られてしまい少し大回りに交差点を曲がってしまいました。

そして、電柱から前方に視線を戻すと、目の前に何か真っ暗な物が見え、直ぐに鈍い衝突音がしたのを覚えています。

私は、「何が起こったのだろう」と不安になり、車から降りて確認すると、人が頭から血を流して倒っていました。私はすぐに「大丈夫ですか」と被害者の方に声をかけるとともに救急車を呼びました。警察には周囲に集まつた方が連絡してくれました。その後、しばらくして救急車と警察の方が到着し、被害者の方は病院に救急搬送され、私は警察の現場検証に立ち会いました。

現場検証が終わり、すぐに病院に駆けつけたところ、すでに手術は始まっており、被害者のご家族から大変厳しい状態であると聞かされました。私は、「何とか助かって欲しい」と願っていましたが、その2日後に警察の方から連絡が入り「被害者の方が亡くなられた」と聞かされ、頭の中が真っ白になりました。

通夜と告別式には参列させていただきましたが、御遺族の方は大変憤っていました。

事故現場は私の自宅から数メートルしか離れていない場所で、御遺族の家も近所であったことから、四十九日や春のお彼岸のほかにも数回伺わせていただきましたが、新盆に伺った際、御遺族から「もう来なくていいです」と言われました。

そして、裁判が始まり、私は過失運転致死罪、道路交通法違反の罪で、禁固2年6か月の判決を受け、受刑生活を送っています。

市原刑務所では、交通安全指導や改善指導等の教育が行われており、交通事故で大切なご家族を亡くされた御遺族のお話を伺う機会がありました。

御遺族の皆さんがどれほど辛く、苦しい思いをしているか、ということや、時が過ぎても決してご家族のことを忘れることができず、生涯にわたって悲しい



思いが続くことを身に染みて感じることができました。

これからは自分の立場で考えるのではなく、まずは御遺族の視点に立って、どのように謝罪をすればよいのかを考えながら一生をかけて償っていきます。

示談には時間がかかりましたが、何とか応じていただくことができました。

過失とはいって、私は大切な家族の命を奪ってしまいました。被害者の方は自分の父親と同じ位の年齢です。事故後、御遺族のご自宅に伺った際に奥様が、「主人を失い、この先どうやって生活していくべきのか分からない」とおっしゃった言葉が今でも私の心に残っています。

私は交通事故を起こしたことで大勢の方々に迷惑をかけてしまいました。特に御遺族の方には生活を一変させてしまい、本当に申し訳なく思っています。

最後に、こんな私ですが、皆さんにお願いしたいことがあります。

「自分は事故を起こさないから大丈夫」といった過信は絶対に持たないでください。そしてハンドルを握る際は、「今運転を始めても大丈夫なのか」とか、「この状態で運転を続けても大丈夫か」と自分に問い合わせてください。

ハンドルを握るということは、同時に人の命を握っていることと同じことなのです。事故を起こしてからでは遅いのです。車を運転することがどういうことなのか、改めて考えてみてください。私の過ちが教訓となり、一件でも交通事故が無くなることを願ってやみません。

わたらうか 迷う気持ちちは 赤信号

この人
187



川崎交通安全協会
会長
關進さん



こんにちは
磯子交通安全協会です

磯子交通安全協会は、横浜市の南東部に位置する南北に長い臨海区で、市内で最も古い区のひとつになります。

地形は、根岸湾に面した沿岸部の低地と、それを囲むように丘陵地が広がり、その境には斜面緑地が連なっています。そして南部には峰・氷取沢・円海山といった市内有数の大規模な緑地が広がりをみせています。海岸部には、海釣り施設やヨットハーバーがあり、海を楽しむことができます。また、自然と接することができる久良岐公園や、岡村公園があり、憩いの場となっています。区内は宅地が広がっていますが、新規分譲住宅地が少なくなっています。

います。

交通は、JR根岸線や首都高速湾岸線、国道16号、横浜市道環状2号、横浜市道環状3号によって支えられ、都市基盤完成度では横浜市内屈指を誇っています。

磯子交通安全協会では、交通安全運動の一環として、例年7月7日に【交通安全祈願 七夕まつり】を15年以上に亘り、開催しています。磯子警察署、協会役員、地域の幼稚園、ボランティア団体協力のもと、子供たちの願いを込めた短冊を、10メートル程の竹に飾り、磯子警察正面玄関へ設置しています。子供たち一人ひとりに交通事故のルールを守る大切さを呼びかけ、交通事故防止啓発活動に努めています。

また、地域においては、区内

はなく、法的知識のない者まで、道路を利用する全員が交通安全意識を持たない限り、「交通事故ゼロはあり得ないこと」を常々話しており、「公共輸送機関を担っていることから、交通安全活動で少しでも社会に貢献できればと日夜、心を碎いて頑張っていきたい。」と話しています。

会長は、温厚で人望も厚く、常に相手の立場に立って、多くの方の意見を聞いたうえ、冷静に物事を判断する人柄であり、他の団体の多くの関係者からも信頼され交通指導員や地域交通安全推進委員の活動にも率先して参加するなど、日頃から積極的に各種交通安全活動に取り組んでいます。

特に、交通安全協会の事業運営にご協力をいただいている事業所会員、免許会員の皆様方には、コミュニケーションを欠かさず、全ての方々に分け隔てなく誠実に接しており、気配り、思いやりのある会長でもあります。

川崎区内は、平坦な道路環境であることから自転車利用者が多く、自転車の関係する交通事故が多発している厳しい現状ですが、今後も健康に留意され「永遠のテーマ」である交通事故に終止符をうつまで、区民の交通安全の代表者として、ご活躍をお願いしたいと思います。

(取材協力：川崎交通安全協会)



25ヶ所に交通監視所を設け、毎月1日(県民交通安全日)、15日(高齢者交通安全の日)に、学童の登校時パトロールを実施し、交通事故防止はもとより、安全・安心まちづくりに貢献しています。

最後になりますが、新型コロナウィルス感染の状況が一日でも早く解消され、平穏な日々が取り戻せるよう心から願っています。

(大本 記)

こんばんは 早めのライトで ごあいさつ

地区交通安全協会の活動紹介



横須賀 大瀬町周辺での交通安全キャンペーン



藤沢北 湘南台駅周辺での交通安全キャンペーン



青葉 たまプラーザ駅周辺での交通安全キャンペーン



秦野市 国道246号での交通事故防止キャンペーン



高津 二子新地駅周辺での保護誘導活動



磯子 新杉田駅周辺での交通安全キャンペーン



厚木警察署管内 戸室小学校での交通安全教室



中原 向河原駅前踏切でのマナーアップキャンペーン

交通安全活動

賛助会員の紹介

このコーナーでは、(公財)神奈川県交通安全協会の交通安全活動に賛同し、賛助会員としてご協力をいただいている企業等を順次ご紹介しています。(敬称略)

- 川崎商工会議所 川崎市川崎区駅前本町
- 大本山川崎大師平間寺 川崎市川崎区大師町
- 信号器材(株) 川崎市中原区市ノ坪

公益財団法人神奈川県交通安全協会では、交通事故のない安全で快適な交通社会を実現するため様々な交通安全事業を行っております。交通事故防止活動に賛同していただける「賛助会員」としての入会をお願いいたします。

インフォメーション

- 飲酒運転根絶強化月間 12月中
- 二輪車安全運転講習会 12月11日(土)運転免許センター
- 年末の交通事故防止運動 12月11日(土)~20日(月)